

院長にインタビュー

院長

かわむら えいじ
川村 英史 先生

「患者様が喜んでくれる瞬間、
大きな喜びを感じます。」

志木市にある「埼玉インプラントクリニック志木」は、川村英史先生が2023年に開院された歯科クリニック。川村先生は、お若いながらもさまざまな種類の症例と経験数をお持ちの気鋭の歯科医師です。また、より最適な診断と充実した治療を患者様に提供するため、常に最新の情報をアップデートされています。今回はそんな川村先生に、気になるインプラントのことやクリニックのことなどについてお伺いしました。

インプラントは他の歯の健康寿命を伸ばすことができる治療法

—— まずは初めの質問です。川村先生が考えるインプラントの最大のメリットとは何でしょうか？

インプラントの最大のメリットは、他の歯の健康寿命を延ばせることです。歯を失った際に誤った処置を施すと、結果として歯の寿命を縮めてしまう可能性があります。

インプラントは単独で機能するため、他の歯に負担をかけることなく、自然な噛み合わせを再現することが可能です。これにより、他の歯の負担を減ら



し、長期的に口腔全体の健康を維持することに繋がります。

—— 「自分の歯のように噛める」とは気持ちも明るくなりますね。それでは実際にインプラントにされた方のお声はいかがでしょう？

大変満足しているという声を多数いただいております。特に当院では、噛み合わせに力を入れており、精密な噛み合わせの調整を行うことで、おいしく食べられるようになったとご好評いただいております。

また、前歯のインプラントにおいては、見た目の美しさも重要です。当院では歯茎の移植などの技術を用いることで、天然の歯と遜色のない見た目を実現し、患者様の満足度向上に努めています。

—— メリットの多いインプラントですが、やはり「何となく怖い」というイメージを持つ方も多いと思いますが、実際のところどうでしょうか？

そうですね。安心して治療を終えられるよう努めています。当院では痛みを最小限に抑え、迅速な手術を心がけており、1本あたり平均5分程度で埋入を終



えることが可能です。

麻酔は患者様の状態に合わせて適切に使い分け、不安な方には眠った状態で治療を受けられる**静脈内鎮静法**※もご用意していますので、ご安心ください。

※眠くなりますが、意識がなくなり、自分自身で普段通りに呼吸ができ、呼びかけや刺激に対して反応可能な麻酔です。

患者様の生活の質の向上に貢献できるように、最善を尽くします

—— 先生のご経験をお話くださると納得できますね。ところで川村先生は、常に進化するインプラントの技術、知識をどのように習得されておられますか？

私は積極的に学会や講演会に参加しており、気になる講演にはスタッフと共に参加することもあります。また、海外の講演にも足を運び、最先端の情報を得るよう努めています。

さらに、技術の優れた先生がいらっしゃれば、直接連絡を取り、病院見学をさせてもらうなど、積極的に学んでいます。これらの取り組みを通して、常に充実した治療を提供できるよう、自己研鑽に励んでいます。

—— 日々の治療だけではなく、常に知識・技術向上に研鑽されているんですね。それでは治療をされる上で、患者様とコミュニケーションをどのように取っていらっしゃいますか？

患者様とのコミュニケーションにおいて、私が最も重視しているのは、患者様の話を しっかり傾聴することです。

まず患者様の現在のお悩みや、これまでの歯科治療の経緯などを詳しくお伺いします。そして、パノラ

マレントゲンなどの資料を基に、口腔内の状態や治療の選択肢について、丁寧に説明します。これらの情報を総合的に判断し、患者様一人ひとりに最適な治療計画を立案・提案することを心がけています。

—— しっかり聴いて、提案いただけると安心できますね。それでは川村先生、ずばり！クリニックの強みはどこでしょうか？

当院の最大の強みは、インプラント専門クリニックであるという点です。県内はもちろん、東京、横浜、群馬など、遠方からも多くの患者様にご来院いただいております。

高度な技術と豊富な経験に基づき、他院ではあまり行われていない歯茎の移植、前歯の審美インプラントから、オールオン4、顎の位置がずれている方の難しいインプラントまで、幅広い症例に対応できることが、私たちの誇りです。

—— ここまでお聞きして、治療に学会、研究会にご多忙だとは思いますが、休日はどのように過ごされていますか？

普段は診療や勉強会などで多忙な日々を送っていますが、休日は主に子供たちと過ごしています。5歳と2歳になる子供がいるので、一緒に遊んでいるとあっという間に時間が過ぎてしまいます。

子供たちが寝た後は、学会発表のスライドを作成するなど、自己研鑽の時間に充てています。

まとまった休みを取ることは難しいですが、子供たちと過ごす時間は、私にとってかけがえのないものです。

—— それでは最後の質問です。川村先生にとってこの仕事の喜びとは何でしょうか？

この仕事をしていて最も嬉しいのは、患者様が喜んでくれる瞬間です。

患者様は、何かしらの悩みを抱えて来院されます。そのお悩みを丁寧に聴きし、的確な治療をご提供することで、患者様の笑顔を見ることができたとき、大きな喜びを感じます。

歯科医師という仕事は、私にとって天職だと感じています。これからも、患者様の生活の質の向上に貢献できるように、最善を尽くしていきます。

